

会議録

会議の名称	令和3年度 第4回別府市公共交通活性化協議会
開催日時	令和4年3月28日(月) 10:00~11:30
開催場所	別府市役所 5階 大会議室
出席者	別添名簿参照
《会議の内容》	
1 議案	
(1) 令和3年度地域公共交通確保維持改善事業一次評価に係る書面会議結果について(報告)	
(事務局説明) 令和4年1月7日付け別公協第31号にて実施した、令和3年度地域公共交通確保維持改善事業一次評価に係る書面会議結果について、過半数の承認を得たため、令和4年1月25日付け九州運輸局長あて提出したことを、別府市公共交通活性化協議会設置規約第8条第2項の規定により報告。	
(質疑応答) 特になし。	
(2) 別府市地域公共交通計画(案)について	
(事務局説明) 公共交通に関する基本的な方針、計画の目標・目標達成のための事業について説明。	
(質疑応答) 以下のとおり	
(委員) 目標値について、数字の根拠を教えてください。 また運転手の募集活動に関する発信はありがたい。	
(事務局) 目標値については前計画から引き継いだもの、交通事業者様と協議の上設定したものなどがあり、行政と事業者で協議しながら進めていきたい。	
(委員) 指標2-1において公共交通利用率「5%アップ」とあるが、5%上がった分はどの交通モードに反映すると想定しているのか。	
(事務局) 反映する交通モードを想定するのではなく、受け皿となる交通サービスを維持することが重要と考えている。	

(委 員) 公共交通利用率「5%アップ」について、パブリックコメントを募集する際や最終的に策定するときなどに、市民向けに何をすれば「5%アップ」に繋がるのか伝えてはどうか。月一回程度公共交通を利用しましょうなど、分かりやすく解説したものを計画案に添付する方法もある。

(事 務 局) ご指摘のとおりであり、対応したい。

(委 員) 交通不便地域における市民協働を基本とした地域コミュニティ交通が自家用有償旅客運送を指しているのであれば、タクシー業界としては様々な課題はあるが、最大限努力して公共交通を維持していくという姿勢である。

(委 員) 身体障がい者の利用者目線として、JR 九州の駅効率化について、他市町の無人化駅は簡易委託駅として対応するようであり、別府市も市長会を通じて要望を出しているようだが、無人化されると利便性がさがり、利用者としては使わなくなるので、利便性向上のためのより具体的な施策等の文言を追加していただきたい。東別府駅についても JR 九州だけで対応できないのであれば民間の事業者の協力等検討し、支援していただきたい。

(事 務 局) 共生社会を念頭に、対応策を検討したい。

(協議結果) 原案のとおり承認。

(3) 予算の繰越について

(事務局説明) 第3回協議会において承認を得た計画策定調査業務を令和4年6月まで延長したことにともない、令和4年度に繰越になった事業についての予算を繰越したい。

(質疑応答) 特になし。

(協議結果) 原案のとおり承認

2 その他

次回協議会開催は6月頃の予定。